

レファレンス コーナー 貿易統計データを 探す

石崎えり子

居ながらにしてインターネット上でいろいろな情報を得ることができ、現在では、統計情報についても例外ではない。国連をはじめ多くの国際機関がインターネット上に開設する無料サイトの様々なデータベースを検索したり、電子出版物にアクセスすることができ、貿易統計データについても同様である。しかしこれらの多くは最新のデータに限定され、掲載年は長くても直近五年分程度である。長期に渡ってのデータ入手にはインターネットでは限界がある。やはり原資料にあたるのが一番である。ここでは、使い勝手のよい国際機関発行の貿易統計資料と併せて、インターネット上の無料データベース及び当館で利用できる二つの有料貿易データベースを紹介する。

この貿易額の推移を長期時系列で観測できる統計「*Direction of Trade Statistics Yearbook, International Monetary Fund* 年刊（請求記号 MF/SA）」がある。最新版には一八三カ国の直近七年分の輸出入額が地域別及び相手国（アルファベット順）別に年単位で掲載されている（通貨は米ドル表示）。一国の対地域及び相手国別貿易額の推移を一覧できる。また巻頭には工業国、開発途上国のカテゴリーでの輸出入額も掲載されている。当図書館所蔵は、Vol.9（一九六九年／一九七三年）から。

また各国の貿易構造を大まかに眺めることができることも、他国との国際比較ができる統計には、国連の代表的な貿易統計年鑑である *International Trade Statistics Yearbook, Vol. I Trade by Country, Vol. II Trade by Commodity, United Nations* 年刊（請求記号 UNSA）がある。当館所蔵は一九五〇年から。最新版には一九九の国と地域の主要相手国及び輸出入品目別の統計が年単位で掲載されている。商品分類は国際標準商品分類改訂第二版（SITC Rev.2）を採用。通貨は米ドル表示。二分冊で第一巻は国別（アルファベット順）データ、主要国及び地域別輸出入の取引額の上位三〇カ国が五年間の金額の多い順に掲載されている他、輸出入指数、経済カテゴリー分類別輸入（七分分）、産業分類別輸出（七分分）、主要商品別輸出入（SITC分類最高五桁、四分分）も掲載されている。

第二巻は商品別表：SITC改訂第二版の小分類（三桁）による商品別表で第一巻同様の順に掲載されている。但し金額のみで数量の掲載はない。日本語版も原書房から出版されている。『貿易統計年鑑』国際連合統計局編（請求記号 UNSA）。当館所蔵の最新版は一九九六年。

しかしながら商品分類は三桁レベルに集約されているため、印刷物でこれ以上詳細な各国の商品別貿易データを探すには各国政府作成の貿易統計を調べるしかない。貿易データに限らず各国政府作成の統計データを比較する場合には、予め国ごとの調査方法や定義、カバレッジなどの違いを十分把握した上で比較することが一番重要となる。

インターネット上の無料サイトでは国連の貿易専門機関である国連貿易開発会議（UNCTAD）の統計データベースオンライン（URL: <http://www.unctad.org>）からも様々な貿易統計データが検索できる。SITC三桁分類による国別及び地域別輸出入額（通貨表示米ドル）が一九八〇年から最新年まで収録されており、また地域別及び商品別貿易構造、サービス貿易などの他に海外直接投資や商品価格統計なども同データベースから検索できる。同サイトには、主要なUNCTADの出版物である *Trade and Development Report* や *World Investment Report* などの電子版も掲載されている。

一方、有料では詳細な貿易統計データがインターネット上でアクセス

できる。『UNComtrade データベース』（UN Commodity Trade Statistics Database）である。国連の貿易統計データベースで、約二〇〇の国と地域における輸出入額・数量を収録し、一九六二年以降の約七億レコードにも及びデータについて国別・商品別での検索が可能となっている。通貨はもちろん、商品分類もSITCやHSなど数種類から選択が可能である。収録期間及び商品分類の詳細など最大規模の貿易データベースと言える。

最後に米国の民間会社が提供する有料の各国貿易統計データベース *World Trade Atlas INTERNATIONAL* を紹介する。

各国の統計作成機関のデータをソースとして *Global Trade Information Services, Inc. (GTIS)* 社が提供するオンライン版各国貿易統計である。五三カ国の輸出入額・数量、貿易収支を一九九〇年代から収録している。対象国数が少なく開発途上地域は二カ国ではあるが、国連の貿易統計データなどでは対象外となっている台湾が収録されていること、また先進経済地域を広くカバーしておりデータが月次、四半期、半年など一年以内で任意に設定できるのが大きな特徴である。なお前述二つの有料データベースは、当館の来館閲覧者には無料でご利用いただけます。（いしざき えりこ／アジア経済研究所図書館）